

こども園教育保育に関するアンケート

4. そう思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. そうおもわない

	評 価 項 目	4	3	2	1
1	園は、意欲的に活動や遊びに取り組む子を育てようとしている。(元気に遊ぶ子)	90%	10%	0%	0%
2	園は、優しさやおもしろいのある子どもを育てようとしている。(心豊かな子)	79%	21%	0%	0%
3	園は、善悪の判断ができ、ルールを守る子どもを育てようとしている。(よく考える子)	77%	21%	0%	0%
4	園は、基本的な生活習慣(あいさつ・手洗い・うがい・身の回りの始末等)が身に付く取り組みや指導をおこなっている。	79%	18%	3%	0%
5	園は、集団生活のルールを守る指導をおこなっている。	85%	15%	0%	0%
6	園は、話を聞く力、話す力が身に付くよう指導している。	69%	28%	3%	0%
7	園は、小学校との連携ができていて1年生への移行が安心である。	87%	10%	3%	0%
8	園は、避難訓練や安全指導(交通安全・防犯指導)などを行い、安全に対する意識や習慣が身に付くよう努めている。	95%	5%	0%	0%
9	園は、気軽に訪問でき、子どもについて相談しやすい雰囲気である。	79%	21%	0%	0%
10	教師は、言葉遣いや身だしなみに配慮している。	87%	13%	0%	0%
11	園の、施設設備は整備管理され、子どもの安全に配慮している。	77%	18%	5%	0%
12	園は、園の情報を園だよりやクラスだより、園連絡メール等を通して分かりやすく伝えている。	82%	18%	0%	0%
13	園は、行事前の連絡がしっかりしている。	74%	26%	0%	0%
14	園は、子どもの様子を話したり、知らせたりしてくれる。	85%	8%	3%	0%
15	園は、家庭や地域と連携しながら、教育保育活動に努めている。	69%	26%	5%	0%
16	子どもは、喜んでこども園に通っている。	92%	8%	0%	0%
17	私は、子どもに朝食をしっかりとらせている。	87%	13%	0%	0%
18	私は、子どもに早寝・早起き・早登園をさせている。	51%	36%	10%	3%
19	私は、園行事に参加するよう努めている。	44%	44%	13%	0%
20	私は、子どもから一日の出来事などの話を聞くように心がけている。	74%	26%	0%	0%
21	私は、子どもと一緒に地域の行事に参加するよう心がけている。	23%	38%	33%	5%

ご意見・ご要望: ①スイミングなど習い事の提携があるといい。・・・公立こども園は遊びを通した教育・保育を行うことで子ども達の育ちを大切にしているため、現在は習い事の提携の予定はございません。今後のこども園のあり方として参考にさせていただきます。

②登園・降園の記録、連絡事項などアプリの導入はしないのか・・・以前からアプリの導入を要望しており、こども未来課と市で予算の調整をしていますが実現できていないのが現状です。今後も引き続き要望していきます。

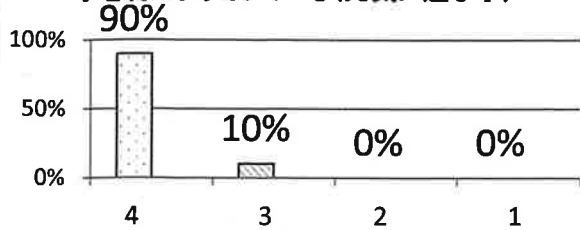
③登園、行事の際の車の乗り入れが多く危険を感じている。・・・車の乗り入れに関しては保護者の皆様にご理解・ご協力していただけるようその都度お願いしています。事故が起こらないようくり返し周知を行い、ご協力していただくようにしていきます。

④校区の保育園との交流があり就学時への安心感に繋がりが良い。・・・保こ小の連携に取り組んでいることが保護者へも伝わっており嬉しく思います。今後も継続していきたいと考えています。

⑤体育着登園が無くなりよかったです。・・・毎日、動きやすい服装での登園ありがとうございました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果を次年度に活かし、子どもたちが毎日笑顔で過ごす事ができるよう改善を行い、より充実した教育保育につなげていきたいと思ひます。

[1]園は、意欲的に活動や遊びに取り組む子を育てようとしている(元気に遊ぶ子)



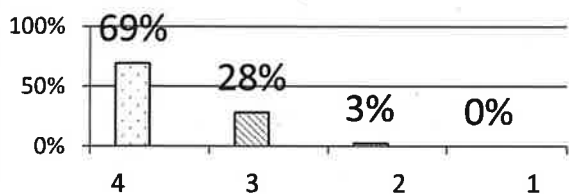
戸外遊びを充実させ、子どもたちが思いっきり体を動かし、やりたいことに取り組めるような環境作りに取り組んできました。

どのクラスも毎日元気いっぱい園庭を走り回り、なわ跳びや固定遊具に挑戦しています。

「虫つかまえよう!」と虫捕り網と虫カゴを手に草をかき分けたり、ビオトープをのぞき込んでおたまじゃくしを捕まえて観察したりしています。

これからも子どもたちの「やりたい」の気持ちを大切にしていきたいと思います。

[6]園は、話を聞く力、話す力が身に付くように指導している。

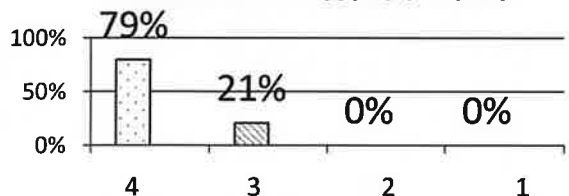


各クラス、先生や友達の話聞く場面や、自分の思いを伝えられる場を設け、みんなで思いを出し合えるようにしてきました。

遊びの中のやり取りでも、お互いに思いを伝えられるように保育教諭が仲立ちをするなどの援助を行っています。

子どもたちは少しずつ、思いの伝え合いが出来るようになってきています。自分の話を聞いてもらい思いを受け止めてもらうやり取りを通して、話すことや聞くことの大切さや心地よさを味わえるようにしていきたいと考えています。

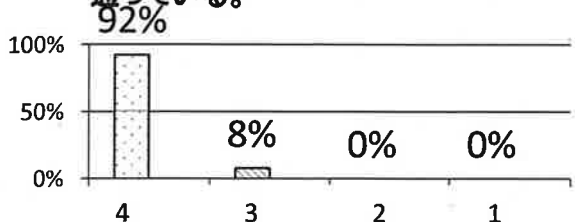
[9]園は、気軽に訪問でき、子供について相談しやすい雰囲気である。



子どもたちの姿を共有しながら、毎日親子で楽しく登園することを願っています。

登降園時や面談を通し、子どもたちの様子の伝え合いが出来るようにしていきますのでいつでもお気軽にお声かけください。

[16]子どもは、喜んでこども園に通っている。



4, そう思う 3, やや思う を合わせると100%であることから、子どもたちが喜んで登園しているという回答がとっても嬉しいです。

これからも子ども達一人ひとりが楽しいと思えるこども園を目指して、職員一同頑張ります。



令和7年度 学校教育活動の評価と反省

○評価の尺度

評価は、4(十分達成できている)、3(おおむね達成できている)、2(達成に努力が必要である)1(達成できていない)の4段階の尺度を用います。

I 園経営		合計人数	12	名
☆共通理解・共同実践(教育保育目標)		評価	意見等	
1	教育保育目標は幼児、こども園、地域の実態、課題に即応している	3.1	・教育保育目標を意識的し、計画実施が行われているが、保護者が理解しているようにはあまり感じられない。 ・教育目標にもとに月案、日週案を作成している。保育の中で週目標を立て保育を展開し、その積み重ねが大切であることを踏まえ、保育者自身が意識をもって保育を展開できるように、年度の初めに教育計画読み合わせ研修などで意識づけを行う。	
2	教育保育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	2.6		
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	2.8		
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	3.1		
☆組織づくり		評価	意見等	
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.1	・目標を共有し、ミーティングや週案打ち合わせの中で、具体的な対策や環境構成が行えるように要点を絞って話し合いができるようにする。	
6	学年(年少・年中・年長)・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている	3.0		
7	職員会議で話合われたことが教育保育活動やこども園運営にいかされている	3.1		
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	2.8		
☆危機管理体制		評価	意見等	
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	3.2	・安全についてそれぞれが意識をもって保育をしている。怪我の対応も職員間でも確認しながら行っている。 保育をするうえで、職員も安心して保育が行えるように安全について共通理解を図っていく。	
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	3.4		
☆環境整備		評価	意見等	
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている	3.2	・玄関前壁面は毎月クラスで担当しており季節に応じた壁面になっているが、廊下などにはあまりできていない。 ・園児の主体性を大切に保育を展開されるように話し合いながら、環境構成を工夫していきたい。	
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	3.0		
13	学級園・学校園等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	3.0		
☆施設設備・予算関係		評価	意見等	
14	施設・設備は充実している	3.1	・意識をもって管理していくためにもっと声掛けなどをしていく必要がある。	
15	備品等の管理はきちんとされている	3.1		
16	園地・園舎の維持管理について全職員が協力して実施している	3.1		
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	3.2		
☆園内研修(研修)		評価	意見等	
18	園内研修は、研修主題に沿って計画的に実施している	3.1	・園内研究は、計画的に行っていると思うが、話し合いの時間の確保は課題である。 ・研修は、全職員が交代で受けられている。 ・職員同士でこどもの姿を共有し、計画を立てて行く中で、目標に向かった保育の展開を心がけている。	
19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.1		
20	保育者がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.1		
21	保育研究会を通して、指導力の向上が図れるようにしている	3.2		
22	保育者一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.2		
☆情報の発信と連携(開かれた園づくり)		評価	意見等	
23	こども園のホームページや各種の「便り」、「通知文」等で保護者や地域への情報発信を実施している	3.2	・クラス担任は保護者に定期的にドキュメンテーションを発信している。 ・保こ小の連携は充実している。	
24	こ・小・中の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.3		

25	保護者や地域との連携を密にし、こども園教育保育への理解と教育を得られるようにしている	3.2	・消防署、警察署、スーパー等地域にある施設を見学させてもらったり、いろいろな人に支えられて生活していることを感じられるようにしている。
26	保育参観日の日程や内容は適切である	3.3	・浦添城址跡公園等、地域にある環境が関わっている。
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	2.9	・黒糖づくりを体験できてよかった。

Ⅱ 指導内容

☆教育課程の編成と実施		評価	意見等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.3	・色々な教材や遊び道具をうまく活用できていない(子どもたちが遊び方をわかっていない)ことがあるので一緒に遊びに加わり、もっと遊びを広めていきたい。
29	教育時間は適切である	3.3	
30	週行事の配置は適切である	3.4	
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.3	
32	全クラスが週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.5	
33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.3	
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.2	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.3	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.3	
☆幼児理解(指導・援助・教育相談等)		評価	意見等
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.2	・一人一人に合わせた援助をするように意識している ・集団で生活すること上で大切なことを感じ取れるようにしている。 ・園での生活や、家庭での園児の様子を聞等、子どもの成長をともに感じられるようにしている。 ・一人一人と向き合い保育を行っているが、もっと出来ることがあるのでは考えることも多い。
38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.4	
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.3	
40	基本的生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.5	
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.4	
42	全職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校・問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	3.3	
☆特別支援教育		評価	意見等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	3.4	・支援会議を適宜行うことで、園全体として個に合わせた援助が行えている。 ・支援計画をもとに、保育を行っている。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.3	
☆学力向上推進		評価	意見等
45	組織体制は確立し機能している	3.0	・学力向上と保小連携の違いがよくわからないところがあるように思う。 ・担当の職員を中心に取り組んでいる。
46	学推の取り組む内容及び計画は適切である	3.0	
47	内容は職員や保護者に理解されている	2.8	
48	計画は円滑に実施されている	3.0	
☆子育て支援		評価	意見等
49	担任同士連携を取りながら、午後の保育の充実を図っている	3.3	・子育て広場の利用者が多いことから、周知がされており、充実していると思う。
50	子育て支援事業の充実を図っている	3.7	

Ⅲ 健康教育の充実

☆健康・安全・食事指導の充実		評価	意見等
51	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.3	・毎月の身体測定や内科健診などの健康診断等を通して、その都度子どもたちが自分の体に興味を持てるようにしている。 ・手洗い、うがい等毎日行うことで、生活習慣の一つとして定着しつつある。 ・畑で栽培した野菜を使った料理を食べることで、苦手なものも挑戦しようとする子が増えてきた。
52	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活が送れるよう指導している	3.3	
53	園便りや保健便りなどの家庭への配布物とおして、保健指導を充実させるようにしている	3.1	
54	給食や食育講話等を通して、食に関する指導を行っている	3.3	
55	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.3	

Ⅳ その他